

1 1 学校研究について

1. 研究主題

筋道を立てて考察する力の育成
～考える楽しさのある授業を通して～

2. 主題設定の理由

本校では、「自ら学び、表現しようとする子の育成」を研究主題に掲げ、児童が主体的に学ぶ中で「わかる」「できる」を実感する算数科の授業づくりを目指してきた。

昨年度は、「割合」の単元を核とし、各学年において「割合」の学習につながる単元を中心に、系統的に「かいて表現」する力をつける実践を重ねた。その結果、図や数直線図を用いて数量関係を捉えて思考したり、図や式をつなげて説明したりする力が少しずつついてきた。また、図のよさや有用性を感じ、進んで活用しようとする姿も増えてきた。

そこで、今年度は、これを土台とし、算数科全般において、言語・数・式・図・表・グラフといった数学的表現を用いて、筋道を立てて考え、表現する力を育成することを目指していく。目的に応じた数学的表現を用いて、自分の考えをもち、それを説明したり、互いの考えを表現し伝え合ったりする活動を通して、思考力・判断力・表現力を育成していきたい。

そのために、考えたくなる場、自分の考えを表現したくなる場をつくり、考えてよかった、表現してよかったという学習への充実感を味わわせることで、「自分で考える」「仲間と考える」楽しさや算数のよさ・面白さを実感できる授業づくりを行っていく。

以上のことから、研究主題を「筋道を立てて考察する力の育成」とし、副題を「考える楽しさのある授業を通して」と設定した。子どもの声が響き合う授業を通して、主題に迫っていきたい。

3. めざす児童の姿とめざす授業

- | | |
|-------------------------|-----------|
| ①主体的に問いをもち、自分の考えをもつ姿 | → ?をもつ |
| ②他者との交流を通し、自分の考えを広げ深める姿 | → 考え、伝え合う |
| ③付けたい力が付き、達成感をもつ姿 | → スッキリする |

4. 研究の取り組み

(1) 授業研究

- ①?をもつ
 - ・学習意欲を高める導入
 - ・ゴールの具体的な姿を想定した課題設定と主活動の一致
 - ・やる気になる前向きな言葉かけ

②考え、伝え合う

- ・一人ひとりが思考する時間の確保
- ・自分の考えの根拠や筋道を表現する場の設定
- ・児童の思考を広げ深める問い返しや価値付け

③スッキリする！

- ・ねらいと実態に合った適用問題の設定
- ・自己の変容や達成感の自覚化，次の課題への意欲化につながる振り返り

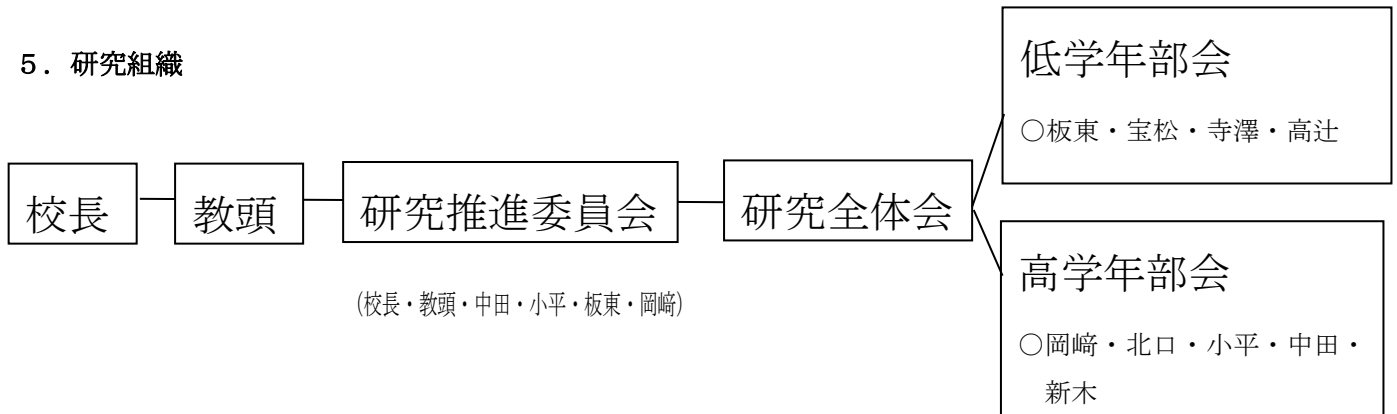
(2) 組織的・継続的な研究推進の工夫

①「めざす授業」のイメージ化

- ・目標で貫かれた授業づくりをするための授業構想シート
- ・指導者と児童でめざす授業を共有するための授業参観や振り返りシート
- ・校内研修，校外研修の充実

②学力づくり部だよりの発行

5. 研究組織



低・高学年部会で授業研究（指導案検討）⇒全体会・模擬授業 ⇒ 研究授業 ⇒整理会

6. 研究の検証

(1) 指導者

授業振り返りシート，教職員アンケートをもとに指導を振り返り，授業改善に活かす。

(2) 児童

単元末テストや説明力向上問題で理解度を測り，次の単元や次年度の取組につなげる。

7. 研究構想図

《学校教育目標》
『豊かに学び 共に成長する子』の育成

～めざす児童の姿～

- ① 主体的に問いをもち、自分の考えをもつ姿
- ② 他者との交流を通し、自分の考えを広げ深める姿
- ③ 付けたい力が付き、達成感をもつ姿

研究主題
筋道を立てて考察する力を育成する授業づくり
～考える楽しさのある授業を通して～



2022 河南 はなまるスタイル

スッキリする!

「わかった」「できた」「次はこれをやってみよう」と実感できる活動の充実



?をもつ

問い?を持たせる課題の提示【学び12+②】

考え
伝え合う

考えを広げ深める対話的な学び合いの充実【学び12+①③④】

～組織的・継続的な研究推進の工夫～

- ① 「めざす授業」のイメージ化
・授業構想シートの活用
・参観授業や振り返りシートの活用
・校内研修、校外研修の充実
- ② 学力づくり部だよりの発行



2022 河南 はなまるハート

自ら
仲間とともに
真剣に

サイコー



～学びの集団づくり～

生徒指導の3機能を生かした働きかけ

- ① 自己決定の場を与える
- ② 自己存在感を与える
- ③ 共感的な人間関係を育成する

